

茨城県文化振興計画に基づく施策の取組状況について

(令和3年度第1回茨城県文化審議会資料)

目次・事業体系

I 人材の育成 … P 1

- (1) 文化の担い手の育成及び確保
- (2) 次世代を担う子どもたちの育成
- (3) 文化に関する教育の充実

II 文化の振興 … P 14

- (1) 芸術の振興
- (2) 伝統文化の継承及び発展
- (3) 生活文化等の振興
- (4) 文化を活用した地域づくり
- (5) 文化交流の推進

III 文化的資産の活用 … P 29

- (1) 文化的資産の活用
- (2) 文化財の保存等
- (3) 公共の建築物の建築に当たっての配慮

IV 文化活動の充実 … P 32

- (1) 県民の文化活動の充実
- (2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実
- (3) 青少年の文化活動の充実

V 文化活動の支援体制の充実等 … P 38

- (1) 文化情報の収集及び提供
- (2) 推進体制の整備
- (3) 文化施設の機能の充実
- (4) 地域における文化活動の支援
- (5) 財政上の措置
- (6) 顕彰

VI いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上 … P 56

- (1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会における文化プログラムの実施
- (2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

【凡例】

- ・事業KPIについては、原則として、政策的経費のみ記載している。
- ・事業KPIの基準及び目標に係る時点は、県総合計画（H30.11月策定）の計画期間と整合している。

【事業の評価】

- ・目標の達成度100%以上 「期待以上の成果」
- ・ 80～99% 「概ね期待通りの成果」
- ・ 50～79% 「期待した成果を下回っている」
- ・ 50%未満 「期待された成果があがっていない」

I 人材の育成

1 施策の方向

文化の担い手や次世代を担う子どもたちの育成とともに、文化に関する教育の充実を図る。

2 課題

本県文化の裾野を広げていくためには、柔軟で感受性の優れた年代の子どもたちをはじめ、多くの県民が、質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実を図る必要がある。

また、少子高齢化や過疎化が進む中、文化芸術活動の担い手の高齢化や後継者不足が懸念されており、芸術家や文化団体の活躍する場や発表の機会を提供するなど、文化の担い手を育成する機会の一層の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化の担い手の育成及び確保

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①茨城県芸術祭★1 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:11,624 R3 当初:16,500	県民が優れた芸術創作活動の成果を発表・展示するとともに、県民へこれらを鑑賞する機会を提供することにより、心豊かで潤いのある生活を実現することができるよう芸術祭を開催する。	・期間:令和2年10月3日 ～令和3年1月17日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等 ・参加者数:3,021人 入場者数:13,803人 計16,824人 ※新型コロナの影響により、27催事中16催事が中止。	・期間:令和3年10月2日 ～令和3年12月4日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
②水戸室内管弦楽団メンバーによる楽器セミナー(仮)(旧:高校生のための公開レッスン)★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:1,360 R3 当初:3,000	県内の高校生以上の管楽器奏者を対象に、世界的な演奏家である水戸室内管弦楽団によるレッスンを実施し、演奏技術の向上を図る。さらに、レッスン終了後には、水戸芸術館等における成果発表コンサートを実施し、受講生の集客力向上及びモチベーション向上につなげるとともに、県民に質の高い演奏を鑑賞する機会を提供する。	・開催日:令和3年3月6日 ・場所:水戸芸術館等 ・受講団体:土浦一高、並木中等 ・参加者数:40人 ※新型コロナの影響により学校への外部指導者立入ができなかったことから、オンライン・レッスン及び受講団体へのミニコンサート配信を実施した。	・開催日:令和4年1~2月 ・場所:水戸芸術館等 ・受講団体:県内の管楽器奏者、県内オーケストラ・吹奏楽団体 事業内で県内の高校生以上の管楽器奏者を対象とした管楽器アンサンブル・セミナーとオーケストラ・吹奏楽団体向けレッスンを実施。
③文化芸術体験出前講座★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:14,409 R3 当初:19,400	児童生徒が本格的な文化芸術に触れる機会を提供し、将来の担い手や鑑賞者を育成するとともに、若手演奏家や文化芸術活動団体等に活躍の場を提供する。また、文化芸術活動団体と学校との連携・協力体制構築の促進を図る。	実施校数:71校 参加者数:5,670人 ・音楽【38校】 ・伝統文化(茶道・華道)【13校】 ・美術(書・陶芸・絵画)【14校】 ・その他(食文化・能楽)【6校】	実施校数:100校 ・音楽【61校】 ・伝統文化(茶道・華道)【16校】 ・美術(書・陶芸・絵画)【14校】 ・その他(食文化・能楽)【9校】
④新人演奏会 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:2,000 R3 当初:2,000	本県出身等の新人演奏家に発表の機会を提供して演奏技術の向上を図り、もって地域音楽活動の指導者育成及び本県の音楽文化の振興・向上に資する。	第46回茨城県新人演奏会 期日:令和2年9月27日(オーディション) 令和2年11月29日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:27名 本演奏会出演者数:15名 新人賞2名、奨励賞1名、聴衆賞1名	第47回茨城県新人演奏会 期日:令和3年6月13日(オーディション) 令和3年9月26日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:39名 本演奏会出演者数:16名 新人賞2名、奨励賞1名、聴衆賞1名、特別賞1名

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑤茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算: - R3 当初: -	笠間市で平成17年から開催され、平成28年度に県が共催として参加することとなった「茨城国際音楽アカデミーinかさま」(旧:かさま国際音楽アカデミー)で講師を務める世界的な音楽家等の演奏を広く県民が鑑賞できる機会を提供する。	(H30 年度で事業終了)	(H30 年度で事業終了)
⑥笠間陶芸大学校事業 (産業政策課) (技術革新課) 決算額等(千円) R2 決算:7,636 R3 当初:8,373	陶芸に関する専門的な知識及び高度で多様な技術等を習得させる。 ・陶芸学科 2年制、定員1学年12名 ・研究科 1年制、定員若干名	令和2年度は陶芸学科22名、研究科3名の合計25名が在学し、特命教授を中心としたカリキュラムや各種広報活動を実施した。その他、陶芸従事者を対象に、作陶における技術力の向上および課題解決を目的に陶芸技術者専門研修(修了9名*重複は除く)を行い、指導を行った。	令和3年度は陶芸学科23名、研究科3名の合計26名が在学し、引き続き、特命教授を中心としてカリキュラムの充実を図るとともに、全国から優秀な人材を集めるため、積極的なPRを実施する。その他、陶芸従事者を対象に、技術力向上・課題解決を目的に陶芸技術者専門研修を実施する。
⑦郷土民俗芸能の集い(民俗文化財活性化促進事業) (文化課) 決算額等(千円) R2 決算: 2 R3 当初:205	県内に伝承されている民俗芸能のうち、国や県指定及び市町村指定の無形民俗文化財等を広く県民に公開し、文化財に対する理解と認識を深めるとともに、保存意識の高揚及び後継者の育成、伝承保存を図る。	・期日:令和2年11月17日(土) ・場所:小美玉市四季文化館「みの〜れ」 ・公開芸能:大串のささらばやし他4芸能 ・入場予定数:300人(収容人数の1/2) ※新型コロナの影響により中止。	・期間:通年 ・収集数:35件(国・県指定無形民俗文化財) ・公開先:Youtube(チャンネル作成済) ※対面型の「郷土民俗芸能の集い」からオンライン型の「いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス」へ事業名及び手法を変更。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑧子ども伝統文化フェスティバル★3 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算: 678 R3 当初:5,000	伝統文化活動を行う子どもや大人に日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、発表する子どもたちの意欲向上、観覧する県民への興味喚起を図る。	※新型コロナの影響により中止	・期日:9月～11月 ・場所:未定(商業施設等予定) ・発表団体数:8団体程度
⑨食生活改善地区組織育成・強化推進事業 (健康・地域ケア推進課) 決算額等(千円) R2 決算:1,487 R3 当初:1,823	地域における食を通じた健康づくりの取組を推進するため、地区組織育成リーダー研修会を開催する。 協議会が実施する食生活改善活動の企画や連絡調整、組織の充実強化を図るための助成を行う。	地区組織リーダー育成研修会の開催 1 市町村会長等研修会 ・期日:8月24日～28日 ・方法:YouTubeを用いたWeb研修 ・参加者:212人 2 食生活改善推進員リーダー育成研修会 ・期日:10月19日～10月28日 ・方法:YouTubeを用いたWeb研修 ・参加者:435人	地区組織リーダー育成研修会の開催 1 市町村会長等研修会 ・期日:8月23日～27日 ・方法:会場での開催とWebexを用いた研修を併用 2 食生活改善推進員リーダー育成研修会 ・期日:10月1日～10月29日 ・方法:各市町村への視聴覚教材の配布

(2) 次世代を担う子どもたちの育成

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①親子を対象としたオーケストラコンサート★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:6,767 R3 当初:6,701	4歳以上の親子を対象に、新人演奏会の優秀者とオーケストラをジョイントしたコンサートを開催することで、感受性豊かな子どもたちに鑑賞機会を提供するとともに、若手演奏家に発表の機会を提供することで、将来の文化芸術を担うアーティストの育成を図る。	【県央地区公演】 ・期日:1月24日 ・会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館 ※新型コロナウイルス感染防止対策として県有施設が一斉休館となったため中止。 ・公演を無観客で収録し Youtube で動画配信を行った。(R3.5月 3,864回再生)	【県南地区公演】 ・会場:取手市民会館(取手市) 大昭ホール 龍ヶ崎(龍ヶ崎市) 【鹿行地区公演】 ・会場:鹿嶋勤労文化会館(鹿嶋市) ※開催日は現在調整中。 ※15人程度の編成で県内を巡回する形式とし、文化芸術体験出前講座のコンサート枠として実施
②近代美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:26,191 R3 当初:30,869	県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施する。	1 アートフォーラムの運営 ① パネル、画材等による展示活動 ② 映像、美術図書等による情報提供 ③ 創作コーナーの設置 →②③については、コロナ禍のため、コーナーを閉じた。 2 学校教育連携事業 美術館セミナーの開催:年3回 3 美術講演・講座等の開催 企画展関連美術講演会2回 企画展関連アーティストトーク5回 企画展関連ワークショップ2回 企画展関連鑑賞講座1回 子どものためのオープンワークショップ: →コロナ禍のため中止	1 アートフォーラムの運営 ① パネル、画材等による展示活動 ② 映像、美術図書等による情報提供 →②のうち、タッチパネル式のPCコーナーについては、現在も閉じている。 ③創作コーナーの設置:年2回、オンラインリモート創作コーナー:年1回 2 学校教育連携事業 美術館セミナーの開催:年3回 3 美術講演・講座等の開催 企画展関連美術講演会3回 企画展関連講座3回 企画展関連ワークショップ5回 子どものためのワークショップ:2回 ミュージアムコンサート:年2回

		<p>ミュージアムコンサート:年3回</p> <p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <p>① 美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備 所蔵品検索システムおよびアウトリーチ活動「ハローミュージアム」を通じてのデジタル映像ソフトによる所蔵品紹介 モバイル機器への情報提供等</p> <p>② 学校・各地域の公民館・図書館等へのアウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」の実施 :年 55 日※中止:18 日</p> <p>5 協定に基づく茨城大学との連携</p> <p>① インターンシップの受け入れ※中止</p> <p>② 館内授業の実施:年3回</p> <p>③ 館内美術館アカデミー開催:年 1 回 ※中止:1 回</p> <p>④ 館内でのデッサン:年 1 回</p> <p>6 高等学校との連携:年 9 校</p> <p>7 アートカード貸し出し:年 4 件</p> <p>8 複製画貸し出し:年 44 件</p> <p>9 博物館実習:年 1 回</p> <p>10 企業パートナーシップ事業 ・教育普及アートバス事業の実施:年 6 校</p> <p>※新型コロナの影響による中止あり</p>	<p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <p>① 美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備 所蔵品検索システムおよびアウトリーチ活動「ハローミュージアム」を通じてのデジタル映像ソフトによる所蔵品紹介 モバイル機器への情報提供等</p> <p>② 学校・各地域の公民館・図書館等へのアウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」、オンラインハローの実施 ※随時</p> <p>5 協定に基づく茨城大学との連携</p> <p>① インターンシップの受け入れ:1 回</p> <p>② 館内授業の実施:年 3 回</p> <p>③ 美術館アカデミー開催:年 2 回</p> <p>6 高等学校との連携:年 9 校</p> <p>7 アートカード貸出:随時</p> <p>8 複製画貸出:随時</p> <p>9 博物館実習:年 1 回</p> <p>10 企業パートナーシップ事業 ・教育普及アートバス事業の実施:年 25 校</p> <p>11 ベビーキッズ鑑賞講座(試行):年 2 回</p>
--	--	--	--

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
③天心記念五浦美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:3,647 R3 当初:3,647	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 学校教育連携事業 日本画トランクの貸出:18件 教師向け日本画実技講座:※中止 日本画トランク便:※中止 2 生涯学習関連事業 岡倉天心記念室ガイドツアー:1日3回(※4月から6月は中止) 岡倉天心記念室における音声ガイド貸し出し(※中止) ギャラリートーク:※企画展中止に伴い未実施 ミュージアムシアター:※中止 ミュージアムコンサート:※中止 学芸員体験講座:※中止 ワークショップ:※中止 館HPを介した教材ダウンロード:随時 3 美術情報提供事業講堂の運営 「岡倉天心の五浦時代」上映:※中止 映像ギャラリーの運営:※中止 美術情報ライブラリーの運営 4 茨城大学との連携 実技講座の開催:※中止 リモート・ワークショップ:年1回 講演会:※中止 ※新型コロナの影響による中止あり	1 学校教育連携事業 日本画トランクの貸出:随時 教師向け日本画実技講座:年1回 2 生涯学習関連事業 岡倉天心記念室ガイドツアー:1日3回(※当面の間中止) 岡倉天心記念室音声ガイドのネット配信:随時 講演会:年1回 作品解説会 企画展中1~2回 ミュージアムシアター:年11回 ミュージアムコンサート:年4回 リモート・ワークショップ:年2回 アートツアー for kids:年3回 日本画実技講座:年2回 館HPを介した教材ダウンロード:随時 3 美術情報提供事業講堂の運営 「岡倉天心の五浦時代」上映:随時 映像ギャラリーの運営 美術情報ライブラリーの運営 4 茨城大学との連携 実技講座の開催:年1回 講演会:年1回

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
④陶芸美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:5,131 R3 当初:5,351	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 学校教育連携事業 ・「美術館で学ぼう」事業:※中止 ↓次の事業へ変更 ・「かさま発見！スタンプラリー」事業: 8 月中、796 名参加 ・陶芸ボックス貸出:3 団体、270 人利用 ・笠間市小中学校美術展の開催:※中止 ・第 7 回高校生茶道部交流会:※中止 2 美術講演会・講座等の開催 ・美術講演会:年 3 回(中止) ・ワークショップ:年 3 回 (※1、3 回目中止) ・ギャラリートーク:年 9 回、 延べ 104 名参加(※1、8 回目中止) ・アーティストトーク:年 6 回(※中止) ・呈茶会:年 3 回(※中止) ※新型コロナの影響による中止あり ◎中止イベントに変わる取組 ①動画配信及び SNS での情報発信 ・企画展示室様子や作品紹介 ・企画展出品作家インタビュー等 ②小学生用鑑賞補助ワークシートを作成しHPからダウンロード可能とした。 ③夏休み子ども向け展示解説: 30 回延べ 45 人参加	1 学校教育連携事業 ・「かさま発見！スタンプラリー」事業: 8 月～9 月(笠間市教育委員会と共催へ変更) ・陶芸ボックスの貸出:随時 ・笠間市小中学校美術展の開催: 1 月下旬 ・第 7 回高校生茶道部交流会: 1 月下旬～2 月上旬 2 美術講演会・講座等の開催 ・美術講演会:年 3 回 (※1、2 回目計画せず) ・ワークショップ:年 5 回 ・ギャラリートーク、アーティストトーク: 年 6 回、呈茶会:12 月 ◎アフターコロナの取組 ①動画配信及び SNS での情報発信 ・企画展示室様子や作品紹介 ②小学生用鑑賞補助ワークシートの作成及びHPへ掲載 ③夏休み子ども向け展示解説

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑤自然博物館教育普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:2,512 R3 当初:3,037	自然講座や野外での自然観察会、野外施設を活用した各種体験教室、博物館資料を遠隔地の学校等で展示・公開する「移動博物館」など体験型の教育普及事業を実施し、自然への興味関心を高めるとともに、博物館活動の理解を深める。	1 自然講座等 ・自然講座:11 回実施(※中止 1 回)、延べ 381 人参加 ・シニア向け自然大学:4 回実施(※中止 2 回)、延べ 41 人参加 ・学芸員によるサイエンストーク:3 回実施(※中止 3 回)、延べ 48 人参加 2 自然観察会等 ・自然観察会:実施なし(中止 12 回) ・学芸員ネイチャーガイド(毎土日曜日):コロナ禍により実施なし 3 体験教室等 ・サンデーサイエンス、わくわくディスカバー、子ども自然教室は実施なし 4 移動博物館 県内の小中学校・特別支援学校 11 校(入場者数延べ 3, 518 人)で実施。社会教育施設での実施はなし。 5 ジュニア学芸員育成事業 ・中・高校生が博物館職員の支援のもと各分野のテーマについて学習し、研究成果を発表した。 ・新規ジュニア学芸員認定者数:6 人 ・ジュニア学芸員登録者数:49 人 ※新型コロナの影響による中止あり	1 自然講座等 ・自然ラボ(講座):10 回実施予定 ・サイエンストーク:6 回実施予定 2 自然観察会等 ・自然ラボ(観察会):6 回実施予定 ・ネイチャーガイド:毎土曜日(6 月～)実施予定 3 体験教室等 ・サンデーサイエンス in 発見工房:毎土曜日(7 月～)実施予定 4 移動博物館 県内の小中学校・特別支援学校:8 校、社会教育施設 2 会場で実施予定 5 ジュニア学芸員育成事業 ・ジュニア学芸員養成講座(5 月～9 月)実施中:17 人 ・ジュニア学芸員登録者数:22 人

【再掲】

・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 文化に関する教育の充実

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①アートフルステー ジ公演開催 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:1,216 R3 当初:ー	県立特別支援学校の児童生徒を対象に各種の芸術鑑賞事業を実施し、芸術文化に対する興味関心を引き出すとともに豊かな心の育成を図る。	以下7校で実施 ・水戸聾学校:演劇 ・水戸特別支援学校:クラシックバレエ ・水戸飯富特別支援学校:コンサート ・友部特別支援学校:コンサート ・友部東特別支援学校:中国雑技 ・つくば特別支援学校:コンサート ・大子特別支援学校:演劇	(R2年度で事業終了) 事業終了にあたり、各校には文化庁が実施する同様の事業の積極的な活用を推奨している。
②高等学校文化活動推進事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:1,288 R3 当初:ー	・第38回全国高等学校総合文化祭いばらき総文2014を契機に活性化している本県高等学校文化部への支援を行う。 ・茨城県高等学校文化連盟の部会に外部指導者を派遣するとともに、成果発表会を開催。 ・文化部顧問の指導力向上を図るため、県内外の指導者等による講演会等を実施。 ・日頃の活動の成果を発表する場を提供。 ・高校間の文化交流促進のため、複数の高校文化部による合同練習等を実施。	1 外部指導者の派遣 3部会へ延べ24人を派遣 2 発表の場の提供 ※新型コロナの影響により中止 3 交流事業の実施 4部会(器楽管弦楽、特別支援学校、美術工芸、囲碁)において、計6回交流事業を実施。	(R2年度で事業終了) 茨城県高等学校文化連盟独自に新規事業を設定。引き続き高文連と連携し、県内高校生の文化活動を推進していく。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
③茨城県高等学校 総合文化祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:1,705 R3 当初:5,772	高校生に美術、音楽及び演劇などの芸術文化活動の機会を提供し創造活動の向上を図る。	1 総合開会式 ※中止 2 美術展 期日:令和2年11月3日～11月17日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか 参加校数:118校 入場者数:2,754人 3 音楽会 ※中止 4 演劇 期日:令和2年11月21日～11月22日 会場:小美玉市四季文化館 参加校数:11校 入場者数:282人	1 総合開会式 期日:令和3年10月29日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館 2 美術展 期日:令和3年11月2日～11月9日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか 3 音楽会 期日:令和3年10月14日・11月19日 会場:ひたちなか市文化会館 4 演劇祭 期日:令和3年11月20日～11月21日 会場:小美玉市四季文化館みの～れ
④茨城県小中学校 芸術祭開催 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:1,792 R3 当初:1,245	小中学生の創造性を高め、豊かな情操を培うため、学校教育との連携を図りながら、美術展及び合唱・合奏大会を開催する。	各種目別に実行委員会を組織し次のとおり実施した。 1 小・中学校美術展覧会 期日:令和2年11月25日～11月29日 出品者数:1,496点 入場者 :4,864人 2 小学校合唱・合奏大会 ※新型コロナの影響により中止 3 中学校合唱・合奏大会 ※新型コロナの影響により中止。	実行委員会を組織し次のとおり実施する。 小・中学校美術展覧会 期間:令和3年11月25日～11月29日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館 ※令和2年度をもって、小・中学校合唱・合奏大会は廃止。令和3年度より小・中学校美術展覧会のみ実施する。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑤いばらきっ子郷土 検定事業 (生涯学習課) 決算額等(千円) R2 決算:1,748 R3 当初:2,412	中学2年生を対象に茨城県独自の郷土 検定を行い、子どもたちが楽しみながら 本県の伝統や文化を学ぶことにより、子 どもたちの郷土への愛着心や誇りに思う 気持ちを育む。	1 市町村大会 ・開催期間:令和2年11月 ・参加校数:235校 ・参加者数:23,654人 2 県大会 ・令和3年2月6日の開催予定だった が、新型コロナウイルス感染症拡大 による県独自の緊急事態宣言発令の ため、オンラインでの県大会交流会 に変更して実施。 ※新型コロナの影響により縮小。	1 市町村大会 ・開催期間:令和3年11月 ・参加校数:約230校 ・参加者数:約22,000人 2 県大会 ・開催日:令和4年2月5日 ・参加予定者数:約660人
⑥副読本を活用した 小中学校での地域の 歴史や文化学習 (義務教育課) 決算額等(千円) R2 決算:— R3 当初:—	学習指導要領に基づき、各市町村にお いて、身近な地域の歴史、特色ある伝統 や文化等を取り上げた副読本を作成し、 社会科の授業等で活用している。	小学校3年生、4年生、5年生の授業で 活用	小学校3年生、4年生、5年生の授業で 活用

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・自然博物館美術普及事業(文化課)

4 事業KPI

(1)「県芸術祭の参加者数」(単位:人) ★1

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	34,000	34,000	35,000	35,000
実績値	33,498	33,178	33,924	16,824	—
達成率(%)	—	97.6	99.8	48.1	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I (1)① 茨城県芸術祭

(2)「関連事業の参加者数」(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	12,772	—
参考値	21,787	19,412	19,820	12,772	
達成率	—	114.8	112.1	68.7	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I (1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる楽器セミナー(仮)
- ・I (1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・I (1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30 で終了】
- ・I (2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
- ・II (1)② 海外オペラ【R1 で終了】
- ・IV (1)⑤ 移動展覧会

※参考値は終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート・海外オペラ)を除いた数値

5 事業の評価

【期待した成果を下回っている】 (達成率の平均は 58.4%であることから、「期待した成果を下回っている」と評価)

新型コロナウイルス感染症の影響により、県芸術祭の 27 催事中 16 催事が中止となり、「県芸術祭の参加者数」の達成率は 48.1%と前年度より減少した。

また、「関連事業の参加者数」についても、事業の中止に伴い(「高校生のための公開レッスン(R1:527 人→R2:40 人)」「文化芸術体験出前講座(R1:12,126 人→R2:5,670 人)」等)、達成率は 68.7%と前年度より減少した。

6 今後の展開・方向性

感染症対策の徹底やオンラインによる実施や配信など、新しい生活様式に対応することにより、コロナ禍においても県民が文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、芸術家等の活動機会の確保と、担い手の育成に努めていく。また、文化芸術は人格や感性を育むものであることから、学校や文化団体等との連携を図りながら、子どもの頃から文化に触れる機会を提供し、その後の鑑賞・体験の習慣化に繋げていく。

Ⅱ 文化の振興

1 施策の方向

茨城の文化を高め、その魅力を国内外に発信し、本県文化のブランド力を確立する。また、新たな文化を創造し、地域の活性化を図る。

2 課題

文化芸術の振興にあたっては、各文化団体の自主性や創造性を尊重しつつ、優れた創作活動に対して効果的な支援を行っていく必要がある。

また、広く県民に認知されていない伝統文化もあることから、それらの掘り起こしを行いながら、発表の場の提供や魅力発信など、支援の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 芸術の振興

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①各文化活動への後援 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:-	県以外の者が主催して行う催事等で文化振興に寄与するものについて、県が後援していることを広く県民に知らせることによって、催事等に信用を付与するとともに文化意識の高揚を図り、文化の振興を促進する。	後援承認件数:76 件	後援承認件数 29 件 (R3 年 5 月末現在)
②海外オペラ ★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:-	音楽・演劇・美術・舞踊・文学など複数の要素を同時に合わせ持つ総合舞台芸術である本格的で質の高い海外オペラ公演を低廉な価格で提供することで、県民の文化芸術活動の活性化を図る。また、学生専用席を設けて学生の鑑賞機会を確保する。	(R1 年度で事業終了)	(R1 年度で事業終了)

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
③陶芸美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:4,149 R3 当初:4,221	人間国宝・文化勲章受章者等の作品をはじめ、日本近現代陶芸の全貌を通観できるよう、優れた美術資料の継続的な購入を進める。	次のとおり美術作品を購入した。 ・工芸 伊藤秀人 (陶器) ・工芸 猪倉高志(半磁器) ・工芸 堀 貴春(磁器) ・工芸 中田博士(磁器)ほか15件	収蔵品の充実を計るべく、工芸作品を購入予定。
④近代美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:4,652 R3 当初:5,088	常設展示室において、それぞれ所蔵作品をテーマに応じて展示する。	所蔵作品の中から日本近代美術の秀作を選び、近代美術館で6期展示公開した。 1期 4月29日～6月7日 *5月10日まで臨時休館 2期 6月20日～8月2日 3期 8月4日～9月13日 4期 10月27日～11月23日 5期 1月23日～3月7日 *2月7日まで臨時休館 6期 3月9日～4月18日	所蔵作品の中から近代美術の秀作を選び、近代美術館で6期展示する。 1期 4月21日～6月6日 2期 6月22日～8月1日 3期 8月3日～9月12日 4期 10月28日～11月28日 5期 2月1日～3月13日 6期 3月15日～4月17日

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑤近代美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:42,044 R3 当初:45,071	企画展示室において、企画展を開催する。	次の企画展を開催した。 1 名画を読み解くー珠玉の東京富士美術館コレクション展 会期:令和2年2月20日～4月12日 入館者数:1,407人(令和2年度分) 2 没後10周年 平山郁夫 シルクロードコレクション展 会期:令和2年5月12日～6月28日 当初会期:4月25日～6月14日 臨時休館:4月18日～5月10日 入館者数:15,132人 3 名作のつくりかた 会期:令和2年7月11日～9月22日 入館者数: 5,297人 4 6つの個展 2020 会期:令和2年11月3日～12月20日 入館者数: 5,479人 5 ムーミン コミックス展 会期:令和3年1月16日～3月14日 臨時休館:1月18日～2月7日 入館者数: 16,449人	次の企画展を開催する。 1 日本画の150年 明治から現代へ 会期:令和3年4月17日～6月20日 2 いわさきちひろ展 会期:令和3年7月24日～8月29日 3 上田薫とリアルな絵画 会期:10月26日～12月12日 4 ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ 会期:2月9日～3月27日

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑥陶芸美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:4,338 R3 当初:4,705	<p>第1展示室では、「近現代日本陶芸の展開」をテーマに、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、所蔵品を中心に展示しているほか、板谷波山と松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介する。</p> <p>第2展示室では、現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、展示紹介する。</p>	<p>○第1展示室</p> <p>1 コレクション展Ⅰ 会期:令和2年5月12日～10月25日</p> <p>2 コレクション展Ⅱ 会期:令和2年10月27日～2月7日</p> <p>3 コレクション展Ⅲ 会期:令和3年2月9日～次年度</p> <p>○第2展示室</p> <p>1 新収蔵品展 会期:令和2年5月13日～8月30日 ※7月19日から8月30日へ変更</p> <p>2 第20回全国こども陶芸展inかさま 会期:令和2年7月25日～8月30日 ※令和3年度へ延期</p> <p>3 里中英人展 会期:令和2年9月3日～10月11日</p> <p>4 笠間陶芸大賞展(第二会場) 会期:10月17日～1月17日 ※令和3年度へ延期</p> <p>5 笠間と益子の急須展 会期:令和3年1月19日～次年度</p> <p>6 豊かなる茶陶展 会期:令和3年1月20日～次年度</p> <p>※印は、新型コロナの影響により開始時期等変更のあったもの</p>	<p>○第1展示室</p> <p>1 コレクション展Ⅰ 会期:令和3年5月11日～10月24日</p> <p>2 コレクション展Ⅱ 会期:令和3年10月26日～2月13日</p> <p>3 コレクション展Ⅲ 会期:令和4年2月15日～次年度</p> <p>○第2展示室</p> <p>1 新収蔵品展 会期:令和3年5月12日～7月18日</p> <p>2 第20回全国こども陶芸展inかさま 会期:令和3年7月23日～8月31日</p> <p>3 新収蔵品展 会期:令和3年9月4日～10月10日</p> <p>4 笠間陶芸大賞展(第二会場) 会期:10月16日～令和4年1月16日</p> <p>5 桜井貞子と紙布展 会期:令和4年1月19日～次年度</p>

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑦陶芸美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:16,381 R3 当初:23,083	企画展示室において、企画展等を開催する。	4 回の企画展等を開催する。 1 幻の横浜焼・東京焼展 会期:令和2年4月18日～6月28日 ※臨時休館:4月18日～5月11日 2 青か、白かー青磁×白磁×青白磁 会期:令和2年7月18日～9月27日 ※終了日変更(～10月18日) 3 開館 20 周年記念事業 笠間陶芸大賞展 会期:令和2年10月17日～ 令和3年1月17日 ※令和3年度へ延期 4 人間国宝 松井康成と原清展 会期:令和3年2月6日～3月21日 ※会期変更:令和2年10月31日～ 令和3年3月21日 ※印は、新型コロナの影響により開始時期等変更のあったもの	4 回の企画展等を開催する。 1 オールドノリタケ×若林コレクション展 会期:令和3年4月17日～6月27日 2 土イジリ 会期:令和3年7月17日～9月26日 3 開館 20 周年記念事業 笠間陶芸大賞展 会期:令和3年10月16日～ 令和4年1月16日 4 北澤美術館名品展 エミール・ガレとドーム 会期:令和4年2月5日～5月8日

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑧フィルムコミッション 推進事業 (観光物産課) 決算額等(千円) R2 決算:11,611 R3 当初:13,462	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ誘致 ・ロケ支援 ・ロケツアーリズムの推進 	1 県内撮影支援作品数:515 作品※ 2 県内撮影日数:1,253 日※ 3 ロケ地マップ Vol.14 の発行 4 ロケ地バスツアーの実施 春:新型コロナにより休止 秋:台風により中止 5 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 ※R 元年度実績	1 ロケ地マップ Vol.15 の発行 2 ロケ地バスツアーの実施 春:新型コロナにより休止 秋:台風により中止 3 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 本県で撮影した映画の公開に合わせ 対象の市町村と共同でロケ地の展 示・活用を実施
⑨茨城県魅力映画支 援事業(観光物産課) 決算額等(千円) R2 決算:5 R3 当初:19,182	本県を舞台題材にした作品の誘致	海外作品を対象にした誘致活動 (1)海外作品のロケ誘致活動 香港フィルマート(オンライン)への 出展 (2)海外の映像製作関係者を対象にし ロケーションツアー ※新型コロナの影響で未実施	魅力映画支援によるロケ地の聖地化 (1)海外の映像作品誘致に向けた 茨城ロケ地プロモーション (2)魅力ある国内外の映像作品の支援

【再掲】

・茨城県芸術祭(生活文化課)

(2) 伝統文化の継承及び発展

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
① 伝統文化総合支援事業★3 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:5,500 R3 当初:8,960	県内各地で行われている伝統的な行事や民俗芸能などの伝統文化について、その継承等に取り組む伝統文化団体への発表機会の提供や情報発信の支援等を行う。	1 催事主催者と伝統文化団体のマッチング 4 催事 11 団体 2 情報発信支援 発信数:17 件	1 発表機会の提供 2 情報発信支援 3 伝統文化活動に関する調査
② 東関東の盆綱総合調査事業(民俗文化財活性化促進事業) (文化課) 決算額等(千円) R2 決算: 495 R3 当初:2,000	茨城・千葉両県のほか九州北部など、広域にわたって分布する盆行事の一つである「盆綱」の特色や歴史的価値を明らかにし、記録を残すことにより、今後の保存と伝承を図るための基礎的な資料とする。 また、本県の民俗習慣の特性に関する理解と啓発に役立てる。 調査期間は平成 31 年度(2019 年度)から令和 3 年度(2021 年度)まで。	1 調査委員会の開催 ・4 回/年(6 月、7 月、10 月、3 月) ・詳細調査地区の選定 ・現況確認調査地区の選定 ・調査報告書の構成・分担の検討 2 現地調査の実施(8 月 13 日・15 日) ・聞き取り調査及び記録保存 3 調査報告書の作成 ・原稿作成及び校正 ※新型コロナの影響により、行事の中止が相次いだため、詳細調査及び現況確認調査の地区数を縮小	1 調査委員会の開催 ・4 回/年(7 月、11 月、2 月、3 月) ・詳細調査地区の選定 ・現況確認調査地区の選定 ・調査報告書の校正 2 現地調査の実施(8 月 13 日～15 日) ・聞き取り調査及び記録保存 3 補足調査 ・聞き取り調査及び記録保存 4 調査報告書の作成 ・原稿作成及び校正

【再掲】

- ・郷土民俗芸能の集い(民俗文化財活性化促進事業)(文化課)
- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 生活文化等の振興

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①「茨城をたべよう」県産品販売・PR促進事業★4 (販売流通課) 決算額等(千円) R2 決算:3,500 R3 当初:3,500	県内において進めてきた地産地消の活動から取組を拡充し、生産者、事業者、消費者等が一致協力して県産農林水産物の利用を促進するとともに、県産農林水産物の魅力を広く発信し、県内外における認知度向上と消費拡大を図ることを目的とする。 ※「茨城をたべよう運動推進協議会」は、令和3年度から「いばらき食の魅力発信協議会」へ改組した。	1 県内全小学5年生(約25,000人)に対し、県内の主要農産物を紹介したクリアファイルの配布 2 協議会会員等が実施する県産農林水産物等を活用したPRイベント、農業体験、料理教室への一部支援【R2実績:19件】 3 「茨城をたべよう学校給食支援事業(生産者と生徒の交流事業)」による地場産物を活用した特別メニュー提供等の経費の一部支援【R2実績:0件】 4 「地産地消情報ネットワークシステム」を運営し、地産地消関連イベント情報等を会員相互で共有 5 協議会会員と連携した各種イベント等での「茨城をたべよう運動」のPR(フラッグ、のぼり等の掲出、パンフレットの配布等) 6 新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施する、県産品を活用した取組に対する支援【R2実績:8件】	1 県内外への県産農林水産物のPR ・「いばらき食と農のポータルサイト」を活用したPR ・SNSを活用したPR ・茨城県の豊かな農林水産物を紹介したクリアファイルの作成及び配布 ・「茨城をたべよう」シンボルマークを活用したPR ・各種イベントにおけるPR 2 協議会会員相互の連携、交流促進 ・情報交換会・県産品試食会の開催 ・協議会会員相互のマッチング 3 市町村との連携 ・市町村の食関連イベントの「いばらき食と農のポータルサイト」への掲載、ノベルティグッズの提供等

【再掲】

・食生活改善地区組織育成・強化推進事業(活動支援・リーダー育成) (健康地域ケア推進課)

(4) 文化を活用した地域づくり

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>①アーカスプロジェクト 推進事業★5 (地域振興課) 決算額等(千円) R2 決算:8,542 R3 当初:5,489</p>	<p>海外からアーティストを招き、滞在中の制作活動を支援する「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」や、県民が身近に芸術を体験できる「地域プログラム」などを通じ、芸術を活かした創造性豊かな地域づくりと本県のイメージアップを図る。</p>	<p>1 公募によるアーティスト・イン・レジデンス ※招聘は中止、3 組のアーティストが制作のための事前調査をオンラインで実施。 2 海外のアート団体等との連携プログラム ※中止 3 連携促進プログラム 勉強会等:3 回、参加者数:125 人 4 地域プログラム ワークショップ等:7回、参加者数:186 人 ※新型コロナの影響による変更。</p>	<p>1 公募によるレジデンスプログラム R2 選定の3 組+新規 1 組を招聘 2 海外のアート団体等との連携プログラム オンラインで日本国籍・外国籍アーティストが共同制作 3 連携促進プログラム 大子町(DAIR)との連携 4 地域プログラム ワークショップ等の開催</p>
<p>②県北芸術村推進事業 (県北振興局)★6 決算額等(千円) R2 決算: 33,574 R3 当初: 7,475 ※県北芸術村推進事業はR2で事業廃止→県北クリエイティブプロジェクト事業に組換</p>	<p>地域づくりの担い手育成を進め、アートを活用した地域主体のまちづくりを促進するとともに、新たなアプローチによる交流人口創出のためのモデル事業に取り組み、地元中心の継続的な地域振興につなげる。</p>	<p>アートを活用した地域主体のまちづくりの促進 (1)若手芸術家(地域おこし協力隊)による活動 ・採用状況:2 名(最長令和3年9月30日迄) ・Meets KENPOKU アートミーティング アートを活用した地域おこし団体等のネットワーク化・組織化 【回数:4 回, 参加人数:51 人】 ・自主企画「メブンケンポクの何かはある」 アート作品の制作展示 ※コロナ感染症対策として主にオンライン開催とした 【期間:令和3年1月23(金)~3月14日(日) 来場者数:395 名】 (2) 芸術家の短期滞在による交流型アートプ</p>	<p>若手芸術家(地域おこし協力隊)による活動 ・採用状況:1 名(令和3年9月30日迄) ・活動内容:アートを活用した地域おこし団体等のネットワーク化・組織化、ワークショップの開催、アート作品の制作・展示など</p>

		<p>プロジェクトの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招へい数:3組(進藤冬華、青木真莉子、オ ル太(アーカス参加アーティスト)) ・主な内容:住民参加型ワークショップ の開催、小中学校でのワークショップ の開催、アート作品の制作・展示など <p>【3組のプロジェクト参加者合計:562名】</p> <p>※コロナ感染症対策として主にオンライン開催 とした</p>	
--	--	--	--

(5) 文化交流の推進

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>①全国高等学校総合 文化祭への活動支援 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R2 決算:0</p> <p>R3 当初:3,000</p>	<p>高等学校相互の交流を図る とともに、高等学校における 合唱や美術工芸等の部活動 の振興に資するため、全国 高等学校総合文化祭に県代 表校を派遣する。</p>	<p>第44回全国高等学校総合文化祭がWEB開 催されることに伴い、県代表校の現地派遣はな かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間:令和2年7月31日～10月31日 ・開催地:高知県 ・参加状況:規定14部門、協賛1部門 延べ42校285人参加 	<p>次のとおり県代表校を派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間:令和3年7月31日～8月6日 ・開催地:和歌山県 ・派遣部門:総合開会式など16部門
<p>②国文祭への参加支 援 (生活文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R2 決算:-</p> <p>R3 当初:-</p>	<p>国文祭開催県から出演者(団 体)募集があった際、県内市 町村及び文化団体に情報提 供するとともに出演者(団体) の推薦を行う。</p>	<p>みやざき2020派遣団体(3団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県かるた協会 ・(一社)日本健康麻将協会茨城支部 ・日本麻雀道連名 <p>※新型コロナの影響により、R3へ開催延期</p>	<p>みやざき2020派遣団体(2団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本健康麻将協会茨城支部 ・日本麻雀道連名 <p>わかやま2021内定団体(2団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本健康麻将協会茨城支部 ・日本麻雀道連名

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
③語学指導等を行う外国青年招致事業 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R2 決算:11,618 R3 当初:17,879	外国から青年を招致し、学校や自治体に配置することで、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流を推進する。	外国青年配置数:49名(R3.3.31時点) ※新型コロナの影響により、大半の外国青年の来日が延期 【内訳】 茨城県:31人(CIR2人,ALT29人) 市町村:13人(CIR2人,ALT11人) 私立学校:5人(ALT5人)	外国青年配置予定数:80人 【内訳】 茨城県:63人(CIR4人,ALT59人) 市町村:11人(CIR3人,ALT8人) 私立学校:6人(ALT6人)
④国際交流協会運営費補助 ★7 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R2 決算:46,606 R3 当初:48,316	(公財)茨城県国際交流協会の運営に要する経費の一部補助を行う。	1 多言語による情報提供(10言語) 多言語サイトアクセス数:23,376件 2 外国人相談事業(31言語(翻訳機器等の対応言語を含む。)) 相談件数:1,172件 3 多文化共生サポーターバンクの運営 登録人数:延べ889人 4 国際理解の推進 ワールドキャラバン講師派遣回数 50回 5 外国人対応・相談担当者研修会 ※新型コロナの影響により中止	協会が円滑な事業の実施と運営を行い民間における国際交流推進の中核組織としての機能を果たせるよう、引続き運営費等を補助する。
⑤在南米県人子弟茨城研修員事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R2 決算:1,000 R3 当初: -	日本語・日本文化の継承、日伯亜の交流推進を図るため、本県からブラジル及びアルゼンチンに移住した者の子弟(各1名)を本県に約6ヶ月間受け入れ、日本語研修及び県内企業・研究機関等での専門研修を実施する。	※新型コロナの影響により中止。 なお、ブラジルでの感染が拡大したため、本県災害時の義援金受領等を考慮し、ブラジル県人会に対して災害見舞金を贈呈。	—

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑥南米交流推進青年派遣事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R2 決算: - R3 当初: -	県民と在米茨城県人会との交流活性化及びネットワークの強化、国際社会で活躍できる将来のグローバルリーダーの育成を図るため、県内在住者の青年 2 名を、事前語学研修の後にブラジルまたはアルゼンチンに 15 日間派遣する。	※新型コロナの影響により中止。	—
⑦上海事務所事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R2 決算:24,322 R3 当初:31,528	近年拡大している中国の消費市場をターゲットとし、本件県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。	観光地や特産品、伝統工芸品の PR を実施 ○江南美食祭り～日本文化美食週 2020 年9月 17 日・18 日、上海市 ○広州正佳広場日本ブランド展 2020 年12月 23 日～26 日、広州市 ○茨城県伝統工芸品展 2021 年1月 20 日～26 日、上海市 ○広州ジャパンプランドフェア 2021 年2月 27 日・28 日、広州市 ○重慶ジャパンプランドフェア 2021 年3月 20 日・21 日、重慶市	笠間焼や結城紬をはじめとする工芸品事業者や県内企業に対し、EC サイトやライブコマースなど新たな手法の活用を提案し、支援を行うなど、国際文化交流を推進する。

【再掲】

・アーカスプロジェクト推進事業(地域振興課)

4 事業KPI

・関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	12,772	—
参考値	21,787	19,412	19,820	12,772	—
達成率	—	114.8	112.1	68.7	—

※参考値は終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート・海外オペラ)を除いた数値

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)② 高校生のための公開レッスン
- ・ I (1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・ I (1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30で終了】
- ・ I (2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
- ・ II (1)② 海外オペラ【R1で終了】
- ・ IV (1)⑤ 移動展覧会

・伝統文化団体への発表機会提供 (単位:団体) ★3

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	7	15	22	30
実績値	0	8	15	11	—
達成率(%)	—	114.2	100.0	50.0	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)⑧ 子ども伝統文化フェスティバル
- ・ II (2)① 伝統文化総合支援事業

・茨城をたべよう運動の認知度 (単位:%) ★4

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	40	40	40	40	40
実績値	36.4	32.3	35.1	38.4	—
達成率(%)	91.0	80.8	87.8	96.0	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ II (3)①「茨城をたべよう」県産品販売・PR促進事業

・再来日または日本での展示に参加したアーティストの数（単位：人）★5

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	-	53	54	55	60
実績値	52	58	60	62	-
達成率(%)	-	109.4	111.1	112.7	-

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (4) ①アーカスプロジェクト推進事業

・交流型アートプロジェクト参加者数(地域の担い手となり得る人材) (単位：人) ★6

	2017(基準)	2018	2019	2020(目標)
目標値	-	100	150	200
実績値	-	100	171	296
達成率(%)	-	100	114.0	148.0

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (4) ②県北芸術村推進事業

・多文化共生サポーター新規登録者数(2014年以降の累計値) (単位：人) ★7

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	400	500	600	700	800
実績値	520	668	843	914	-
達成率(%)	130.0	133.6	140.5	130.6	-

【事業 KPI を構成する関連事業】

・ II (5) ④国際交流協会運営費補助

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】（達成率の平均は95.3%であることから、「概ね期待通りの成果」と評価）

「再来日または日本での展示に参加したアーティストの数」、「交流型アートプロジェクト参加者数」、「多文化共生サポーター新規登録者数」については、達成率が引き続き100%を超え、「茨城を食べよう運動の認知度」は96%と前年度よりも増加した。

一方、「伝統文化団体への発表機会提供」については、子ども伝統文化フェスティバルが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことから、50.0%と前年度よりも減少した。

6 今後の展開・方向性

文化施設及び文化施設以外での集客力のある施設において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、文化芸術や伝統文化を発表する機会の確保を図ることにより、担い手のやる気向上や県民が文化芸術に触れる機会の確保に繋げていく。また、文化団体や市町村等、さらには県外の自治体との連携を図りながら、伝統文化の掘り起こしに取り組みつつ、伝統文化の一層の発信力向上を図っていく。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 施策方向

地域の文化的資産を観光・産業振興や地域振興等に積極的に活用する。また、文化財の適切な保護・継承を図る。

2 課題

我が県の長い歴史の中で形成、伝承されてきた数多くの伝統的な文化財の適切な保存を進めていくことはもとより、これらの文化財を公開するなどして、文化財の活用を図っていくことが求められている。

また、良好な県土の景観を保全し、創造していくためには、公共の建築物等の建築に当たり、周囲の自然景観や地域の歴史的及び文化的な特性に配慮する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化的資産の活用

【再掲】

・フィルムコミッション推進事業(観光物産課)

(2) 文化財の保存等

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①文化財等整備費補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:17,774 R3 当初:51,439	国・県指定文化財の管理、修理、防災、保存及び公開等に対して補助を行う。 また、県所有文化財(美術工芸品)の保存修理を行う。	国指定重要文化財である善光寺楼門及び県指定文化財である長勝寺本堂他 5 件の所有者に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施した。 また、本県が所有する国指定重要文化財である三昧塚古墳出土品の保存修理を実施した。	国指定重要文化財である山本家住宅及び県指定文化財である綿引家住宅主屋・倉他 5 件の所有者に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施する。 また、本県が所有する国指定重要文化財である三昧塚古墳出土品の保存修理を実施する予定。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
②文化財等災害復旧補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:-	東日本大震災により甚大な被害を受けた指定文化財等の所有者に対し、修理費等の助成を行う。	(R1 年度で事業終了)	(R1年度で事業終了)
③埋蔵文化財調査 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:21,385 R3 当初:24,000	埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習を行うことにより、埋蔵文化財の保護と普及啓発を図る。	・来館者数:472 名 ・わくわく体験教室参加者数:133 名 (年 5 回実施) ・出前授業:14 校 ※新型コロナの影響により、わくわく体験教室は 2 回中止。	体験教室や出前授業等の事業を周知するためパンフレット以外に配布資料を作成し、広域に広報活動を実施する予定。特に教員の研修会で事業を説明するなど学校教育との連携を強化することにより、来館者数や活用校の増加を図る。

【再掲】

- ・東関東の盆綱総合調査事業(民俗文化財活性化促進事業)(文化課)

(3) 公共の建築物の建築に当たっての配慮

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①景観形成条例施行事務 (都市計画課) 決算額等(千円) R2 決算:1,183 R3 当初:2,518	○大規模行為届出に係る審査事務 市町村、建築指導課、県民センター 建築指導課及び特定行政庁と連絡調整を行い、円滑な運用を図る。 ○条例等の運用 公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促す。	大規模行為届出受理件数 73 件	大規模行為届出受理件数 (年度末に集計)

4 事業KPI

設定なし

5 事業の評価

事業KPIを設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助金の交付や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

6 今後の展開・方向性

引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村をはじめ地元の関係機関とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

IV 文化活動の充実

1 施策の方向

多くの人々が身近な場所で、様々な文化に触れ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができる環境づくりを図る。

2 課題

青少年や子育て中の保護者、高齢者や障害者、外国人など、より多くの県民が文化についての関心を高め、幅広く文化活動に触れられる機会を提供する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 県民の文化活動の充実

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①茨城県文化振興条例及び計画の周知 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:— R3 当初:—	県民がより一層文化についての関心を高め、理解を深めることができるよう文化に対する意識の醸成を図る。	1 茨城県文化振興条例及び計画の進行管理に係る審議会の情報等:県ホームページ掲載等により、周知を図った。 2 文化振興事業等:ホームページ「いばらき文化情報ネット」への掲載等により周知を図った。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。
②いばらき文化振興財団運営費補助 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:51,984 R3 当初:52,692	県民の文化振興の担い手として大きな役割を果たしている文化振興財団の育成を図る。	文化振興財団の運営に要する経費を補助。 ・R2 年度実績額:51,984 千円	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
③つくば美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:495 R3 当初:495	県民の美術への親しみや 関心を深めるため、多様な 普及活動を積極的に実施 する。	1 講演会、実技講座、図録ライブラリー等の 普及活動 延べ利用者:2,328 人 2 美術講演・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):年 7 回 ・美術講演会:年 1 回 ・ワークショップ:年 2 回 ・ビデオ鑑賞会:年 8 回 ※新型コロナの影響により、土曜講座 5 回、 ワークショップ 1 回、ビデオ鑑賞会 3 回を 中止	1 講演会、実技講座、図録ライブラリー等 の普及活動 延べ利用者:1,520 人(R3.5 月末現在) 2 美術講演・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):年 12 回 ・美術講演会:年 1 回 ・ワークショップ:年 3 回 ・ビデオ鑑賞会:年 11 回
④現代茨城作家美術展★8 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:5,000	県民の文化活動の充実を 図るため、本県を代表する 作家の優れた美術作品を 展示することにより、多くの 県民に文化芸術を鑑賞す る機会を提供する。	(隔年開催のため実施せず)	期間:1 月 8 日～1 月 30 日 場所:県近代美術館 開催部門:日本画、洋画、彫刻、工芸美 術、書、写真、デザイン(7部門 100 点)
⑤移動展覧会★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:6,671 R3 当初:6,750	本県の芸術家の作品発表 の機会や、県内各地で広く 県民が美術を鑑賞できる機 会を提供するため、茨城県 美術展覧会に属する作家 の作品などを展示する移動 展覧会を開催する。	1 陶芸美術館 期間:6 月 13 日～6 月 28 日 14 日間 入場者数:1,414 人 2 つくば美術館 期間:7 月 7 日～7 月 19 日 12 日間 入場者数:986 人 3 しもだて美術館 期間:12 月 5 日～12 月 20 日 14 日間 入場者数:798 人	1 天心記念五浦美術館 期間:6 月 12 日～6 月 27 日 14 日間 2 つくば美術館 期間:7 月 6 日～7 月 19 日 13 日間 3 陶芸美術館 期間:2 月 19 日～3 月 6 日 14 日間

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・海外オペラ(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>①高齢者自身の取組み支援事業 (長寿福祉推進課) 決算額等(千円) R2 決算:2,813 R3 当初:14,804</p>	<p>高齢者が活躍できる社会を目指し、高齢者のスポーツ・健康づくり・地域活動等を推進するため、茨城県健康福祉祭の開催やニュースポーツの推進を行う。</p>	<p>1 ニュースポーツの推進 ・ニュースポーツ推進員スキルアップ研修会の開催 参加者:41名</p> <p>2 第25回茨城県健康福祉祭の開催 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」実施 応募総数:2,141点</p> <p>※新型コロナの影響により開催中止となった各種事業 ・ニュースポーツ体験教室 ・わくわく美術展 ・いばらきねりんスポーツ(交流)大会 ・全国健康福祉祭(ねりんピック岐阜2020)への選手団派遣</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の状況に適切に対応し、高齢者の社会参画と、感染症対策を両立させた上で、高齢者の生きがい・健康づくりを目指し、各種の事業を実施していく。</p>

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
②元気シニア地域貢献事業 (長寿福祉推進課)★9 決算額等(千円) R2 決算:4,488 R3 当初:3,696	高齢者が培ってきた豊富な知識・経験・技術・ノウハウを地域社会に還元するための人材バンク(元気シニアバンク)を創設し、登録のある高齢者が広く活躍できる場となっている。	1 元気シニアバンク登録累計件数 (R3.3 末時点) 292 件(個人:131 件、団体:161 件) 2 バンク利用状況 ・紹介申込件数:67 件(次年度活動依頼分を含む)	引き続き、人材バンクの登録にふさわしい高齢者に、積極的に登録を呼びかけ、多種多様な人材が地域社会で活躍できるよう支援していく。登録件数は順調に増加していることから、活躍の場を増やしていくため、紹介申込件数の増加を図る。特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、紹介申込件数は減少傾向にあるため、新たな需要を生み出すべく、今年度は、学校等に対して、重点的に働きかけを行っている。
③障害者週間推進事業 (障害福祉課) 決算額等(千円) R2 決算:1,292 R3 当初:1,808	障害者による音楽・ダンス・演劇等の発表や美術作品の展示等の文化活動を通じ、障害者と地域社会の交流を深め、障害者の社会参加促進を図る。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2020 1 期日:12 月 3 日～12 月 7 日 2 発表会:いばキラ TV にて動画配信 (6 団体) 3 美術展:作品数 243 点(制作者 393 名) ※新型コロナの影響により発表会を中止したが、ダンス等の動画を募集し、いばキラ TV で動画を配信した。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2021 1 期日:12 月 2 日～12 月 6 日 2 発表会:12 月 4 日 ・参加者 8 団体 150 名(見込み) 3 美術展:12 月 2 日～6 日 ・作品数 400 点(制作者 600 名) (見込み)
④ナイスハートふれあいフェスティバル(学校教育の部) (特別支援教育課) 決算額等(千円) R2 決算:767 R3 当初:1,365	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒が日頃の学習成果の発表をとおして学習活動や社会参加への意欲を高めるとともに、特別支援教育に対する県民の理解と認識を深める。	1 美術展 ・期日:12 月 4 日～12 月 7 日 ・作品数:3,299 点 ・見学者数:1,488 名 ※新型コロナの影響により、学習発表会を中止。	1 発表会 ・期日:12 月 3 日(金) ・出演者数:10 団体 200 名(見込み) ・見学者数:2,000 名(見込み) 2 美術展 ・期日:12 月 3 日～12 月 6 日 ・作品数:4,000 点(見込み) ・見学者数:4,000 名(見込み)

【再掲】

- ・親子を対象としたオーケストラコンサート(生活文化課)

(3) 青少年の文化活動の充実

【再掲】

- ・茨城県小中学校芸術祭開催(文化課)
- ・茨城県高等学校総合文化祭開催(文化課)

4 事業 KPI

・現代茨城作家美術展の入場者数(単位:人) ★8

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	—	8,500	—	8,800
実績値	8,286	—	8,276	—	—
達成率(%)	—	—	97.4	—	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・IV④(1) 現代茨城作家美術展

・関連事業の参加者数(単位:人) ★2

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	18,600	18,600	18,600	18,600
実績値	23,639	21,349	20,842	12,772	—
参考値	21,787	19,412	19,820	12,772	—
達成率	—	114.8	112.1	68.7	—

※参考値は終了事業(茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート・海外オペラ)を除いた数値

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I(1)② 高校生のための公開レッスン
- ・I(1)③ 文化芸術体験出前講座
- ・I(1)⑤ 茨城国際音楽アカデミーin かさまコンサート【H30で終了】
- ・I(2)① 親子を対象としたオーケストラコンサート
- ・II(1)② 海外オペラ【R1で終了】
- ・IV(1)⑤ 移動展覧会

・元気シニアバンク登録件数（単位：件）★9

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	213	229	250	300
実績値	213	212	241	292	—
達成率(%)	—	99.5	105.2	116.8	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

・IV(2)② 元気シニア地域貢献事業

5 事業の評価

【概ね期待通りの成果】（達成率の平均は 92.8%であることから、「概ね期待通りの成果」と評価）

「関連事業の参加者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動展示会の入場者数の減少（R1：5,336人→R2：3,198人）等により、達成率が 68.7%と前年度よりも減少した。

「元気シニアバンク登録件数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、紹介申込件数は減少傾向にあるものの、達成率は引き続き 100%を超えている。

6 今後の展開・方向性

感染症対策の徹底やオンラインによる実施等を行いつつ、文化施設や学校、芸術系教育機関などと連携しながら、特に、これからの文化芸術の担い手である青少年が様々な文化に触れ親しむ機会を提供していく。

また、高齢者団体や障害者団体、国際交流団体など、多様な主体を所管する関連団体などと連携しながら、県民一人ひとりが幅広く文化芸術活動を身近に感じ、触れ、親しむ機会を提供していく。

V 文化活動の支援体制の充実等

1 施策の方向

多様な主体と連携し、文化振興施策の総合的な推進を図る。また、文化情報の効果的な発信や文化施設の機能の充実、地域の文化活動の支援等を図る。

2 課題

県から発信する情報がより多くの県民等に届くよう発信方法を工夫する必要がある。

文化施設については、適切な維持・保全を基本とし、老朽化対策を進めながら、文化情報発信の拠点としての機能を高めていく必要がある。

また、文化や芸術の専門家や市町村の意見を踏まえながら、文化団体等への適切な支援を行っていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化情報の収集及び提供

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①県政情報紙発行費(「ひばり」)(営業企画課)★10 決算額等(千円) R2 決算:150,049 R3 当初:146,717	県政に対する理解を深め、協力していただけるよう、県政の重要課題に対する県の考え方や施策に関する情報、県民の利便性を高める生活・地域情報等を掲載した県広報紙「ひばり」を作成、配布する。	12 回/年 A4判全頁カラー印刷 940,000 部/回	12 回/年 A4判全頁カラー印刷 940,000 部/回
②ラジオ広報(県だより等) (営業企画課)★10 決算額等(千円) R2 決算:32,055 R3 当初:29,962	茨城県全域をほぼカバーする民放ラジオ局茨城放送を媒体とし、県民の県政に対する理解を深めるため、県政の諸施策や催事案内について繰り返し情報提供する。 ※県内コミュニティFM7局でも放送	「ラジオ県だより」(5分間) 192 テーマ、717 回/年 「県政スポット」(20 秒CM) 24 テーマ、1,026 回/年 「県政レポート」(10 分間) 5 テーマ、10 回/年 ※上記回数は文化情報以外も含む。	「ラジオ県だより」(5分間) 204 テーマ、771 回/年 「県政スポット」(20 秒CM) 24 テーマ、771 回/年 「県政レポート」(10 分間) 5 テーマ、10 回/年 ※上記回数は文化情報以外も含む。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
③政策広報(新聞広報等) (営業企画課)★10 決算額等(千円) R2 決算:50,625 R3 当初:44,560	緊急または広く県民に周知を必要とする事項について、新聞に掲載を行うとともに、県内のケーブルテレビやコミュニティFM局を活用して、県民に身近な事業・施策等を紹介する番組を制作・放送する。	・「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 18テーマ、10回/年 ・ケーブルテレビ(CATV・10分間) 放送局:県内ケーブルテレビ5社6局 10テーマ/年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・新聞広告「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 18テーマ、9回/年 ・ケーブルテレビ(CATV・10分間) 放送局:県内ケーブルテレビ5社6局 8テーマ/年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。
④県政キャンペーン広報 (営業企画課)★10 決算額等(千円) R2 決算:2,288 R3 当初:2,288	県政の重要広報事項について、広く県民に周知するため、地域に密着した地方紙の紙面を利用して、テーマ別のキャンペーンを新聞に掲載する。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全2段×14回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全8段×3回 計 全52段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全2段×14回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全8段×3回 計 全52段 ※上記回数は文化情報以外も含む。
⑤インターネット情報発信事業 (営業企画課)★10 決算額等(千円) R2 決算:4,868 R3 当初:5,724	県民生活に必要な県政情報、各種事業・施策などの情報について、県ホームページやSNSで速やかに情報発信を行う。	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載 ＜アクセス件数(年間)＞ トップページ:21,730,732件 サイト全体 :323,334,422件	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載
⑥いばらきインターネットテレビ事業(いばキラTV)★10 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R2 決算:121,166 R3 当初:128,846	若年層を主なターゲットとして、本県の魅力などを紹介する動画を制作し、インターネット上で国内外に広く発信する。	オンデマンド動画制作:471本 年間視聴回数:42,311,256回	オンデマンド動画の制作(413本/年)

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑦メディア訪問強化事業★ 11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R2 決算:3,391 R3 当初:5,474	本県への観光誘客、県産品の販売促進を図るため、テレビや新聞等のメディアに対して効率的・効果的なパブリシティ活動を実施。	報道件数:59件 うちTV:30件	県職員自らがテレビや新聞等の首都圏メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を行う。
⑧メディア活用魅力発信強化事業★11 (営業企画課・プロモーションチーム) 決算額等(千円) (営業企画課) R2 決算:121,638 R3 当初:－ (プロモーションチーム) R2 決算:52,605 R3 当初:－	首都圏の消費者等への本県の認知度を向上させるため、テレビ等により茨城の観光地や特産品などの情報を提供する。	1 首都圏ネットのテレビ局を活用したPR ・テレビ朝日毎週金曜日「じゅん散歩」内で「カミナリのたくみにまなぶ」放送(2分) ・ダイジェスト版CM(30秒)毎週4本 2 インターネットメディアを活用したPR ・フジテレビや動画配信サービス(FO D)を用いて、CM放送やメディアPRなどを実施 3 関東ローカル局等を活用したPR ・関東ローカル局等を活用し、茨城の観光地や特産品の紹介 4 メディアタイアップ ・茨城空港就航先である神戸・札幌エリア所在メディアを中心としたタイアップ事業の実施 ・タイアップ件数:7件 うちTV:4件	(R2年度で事業終了) ※1及び4については、別事業に移行

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑨パブリシティ活動強化事業(国内)★11 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R2 決算:44,455 R3 当初:53,896	ノウハウと実績のある広告代理店を活用し、各種メディアの番組制作やテーマ設定に関わるメディア関係者との関係を構築するとともに、ニュースリリース等を行い。各種メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を展開する。	広告代理店に委託し、パブリシティ素材の整理収集、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施した。 報道件数:1,016 件(うちTV:93 件) 広告換算額:約 65 億円 メディアコンタクト数:524 件 取材誘致件数:28 件	広告代理店に委託し、パブリシティ素材の整理収集、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施。 (R3.5 月末現在) 広告換算額 :約 22 億円
⑩いばらき文化情報ネット整備事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:238 R3 当初:484	市町村や県内文化施設と連携し、県内各地の音楽・演劇・伝統芸能・美術・祭り等の文化催事情報等をホームページ上で公開し、県民のニーズの多様化に対応したリアルタイムの情報提供を行う。	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち、beyond2020 プログラム認証事業 等 2 主な更新内容 文化イベント情報:60 件 3 アクセス件数 ページビュー数:221,479 セッション数:83,234	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち、beyond2020 プログラム認証事業 等 2 主な更新内容(R3.5 月末現在) 文化イベント情報:14 件 3 アクセス件数(R3.4 月末現在) ページビュー数:13,465 セッション数:5,386

(2) 推進体制の整備

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①文化審議会開催費 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:182 R3 当初:935	茨城県文化振興条例に規定する事項等文化振興に関し必要と認める事項について調査・審議する。	文化審議会の開催 ・期日:11月20日 ・議題:茨城県文化振興計画に基づく取組状況報告 委員意見への対応状況報告、意見交換	文化振興計画を推進するため、文化振興施策の実績等を文化審議会に報告し、事業の評価を行うとともに、今後の施策展開の参考とするため意見交換を行う。 ・年3回開催予定
②文化行政推進費(文化団体育成補助金) (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:2,429 R3 当初:3,976	県域文化活動団体が実施する講習会や研修事業等の経費を助成し、組織の強化と活性化を図る。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 2,205千円※ ・茨城ユネスコ連絡協議会 224千円 ※新型コロナの影響により補助事業が一部中止となったため、当初の3,752千円から減額。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 3,752千円 ・茨城ユネスコ連絡協議会 224千円

【再掲】

・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(3) 文化施設の機能の充実

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①県民文化センター施設整備 (生活文化課)★12 決算額等(千円) R2 決算:211,297 現年: 68,837 繰越:142,460 R3 当初: - 繰越: 56,823	老朽化した施設・設備の改修を行い、施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・コンベンション機能強化工事 ・温水ボイラー更新工事 ・展示棟屋上防水更新工事 ・分館電気室コンデンサ及び蓄電池更新工事等	次のとおり工事を行っているところ。 ・大ホール天井改修 ・大ホール舞台床面改修 ・館内換気設備改修 ・館内無線設備改修 ・館内照明設備改修 ・オンライン動画配信設備整備

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
②県民文化センター管理委託 (生活文化課)★12 決算額等(千円) R2 決算:210,456 R3 当初:204,850	県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進していく。	・指定管理料: 208,821 千円 ・備品購入(演台・司会台・花台ほか3点):1,635 千円 ※R1.2.27 以降開催予定で、R2.6.12 までに新型コロナの影響による中止の申出があった催事については、キャンセル料を主催者に全額返還し、返還額分については、県から指定管理者へ補填した。	・指定管理料:193,426 千円 ・備品購入:11,424 千円
③県民文化センターコンベンション機能強化事業費★12 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:137,170 千円 R3 当初:-	県民の文化芸術活動を支える拠点施設である県民文化センターのコンベンション機能を強化し、国際会議及び国内会議を誘致することにより、同センターの利用率の向上や地域の活性化を図る。	大ホール、小ホールに、映像設備(プロジェクター、カメラシステム等)、同時通訳機器(通訳ブース、赤外線送信機等)を整備。	(R2 年度で事業終了)
④アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備★13 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:104,543 現年:67,115 繰越:37,428 R3 当初: - R3 繰越:164,461	老朽化した施設・設備の更新及び施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・フードコート及び5階給排気ファン更新工事 ・空調熱源設備更新工事 ・ヒートポンプチラー更新工事(第2期)	次のとおり工事を行っているところ。 ・外壁塗装改修工事(第2期) ・館内空調更新工事 ・非常照明設備更新工事 ・非常照明用蓄電池更新工事 ・蓄養棟ヒートポンプチラー更新工事

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑤アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業★13 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:6,660,737 現年: - 繰越:6,660,737 R3 当初:-	「夜の水族館の魅力向上」をテーマに、展示内容等をリニューアルし、新たな魅力創出を図る。	次のとおり工事を行った。 ・クラゲ水槽等改修工事 大水槽に加え、照明・音楽の演出装置を整備し、癒しの展示空間を創出。 ・館内展示リニューアル工事 VR映像施設の導入、イルカのショープール演出用照明整備、飲食ゾーンとミュージアムゾーンの一体的整備を実施。	(R2 年度で事業終了)
⑥文化施設整備 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:402,469 R3 当初:475,930	美術館・博物館の施設を安全かつ良好な環境に保つため必要な修繕等を実施する。	・近代美術館照明設備更新工事 ・五浦美術館空調設備改修工事 ・歴史館茶室(無庵)屋根改修工事	・近代美術館照明設備更新工事 ・陶芸美術館屋上防水改修工事 ・五浦美術館証明設備更新工事 ・自然博物館展示室系統空調改修工事
⑦近代美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R2 当初: 3,665 R3 当初:23,972	優れた美術作品を収集するとともに、所蔵品の修復・保存等を行う。	・寄贈および管理換により 32 点の作品を新たに収蔵。 ・所蔵品の修復、燻蒸を行った。 ・展示室・収蔵庫等の環境調査を行い、作品保全に適した環境維持に努めた。	・購入および寄贈、管理換による作品収蔵。 ・所蔵品の修復:3~6 点(予定) ・作品燻蒸:年 1 回 展示室・収蔵庫等の環境調査:通年 ・作品保全に適した環境維持:通年

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑧天心記念五浦美術館展示 事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算: 4,893 R3 当初:27,439	岡倉天心記念室 岡倉天心の業績を遺品、 書簡、写真パネルによって 紹介するとともに、大観ら五 浦の作家たちの作品や資 料を紹介 ・企画展の開催	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品等の複製の中から展示した。 入館者数:3,727 人 2 企画展の開催なし 空調機器更新工事のため休止・休館 休館期間:8月1日～3月31日	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から日本画を中心に6期 展示 2 企画展の開催 ・現代院展のあゆみ 天心記念茨城賞受 賞作品を中心に 会期:令和3年4月24日～6月6日 ・筑波大学 日本画40年の軌跡 会期:6月12日～7月18日 ・ひろがる墨一五彩に出会う 会期:7月28日～9月26日 ・美一響くー コレクション名品選 会期:10月3日～11月23日 ・いにしえを描く 会期:12月4日～令和4年2月6日 ・おいでよ!花鳥画の世界 会期:2月11日～4月17日

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑨自然博物館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:23,421 R3 当初:22,511	「進化する宇宙」など5つのテーマにより常設展を開催する。	「進化する宇宙」など5つのテーマによる常設展の適切な開催を行うため、常設展示保守点検、修繕、照明のLED化、展示更新設計等を行った。 ・常設展示保守点検、動刻設備メンテナンス ・展示室照明点検 ・第1展示室「宇宙の誕生」プロジェクター修繕 ・第2展示室恐竜動刻コンプレッサー修繕 ・第2展示室サーバルタイガー展示更新 ・第3展示室深海生物資料の追加 ・DP 走査電子顕微鏡排気系修繕 ・「学芸員からこんにちは」、「茨城の自然インフォメーション」、「トピックスコーナー」の定期的な小規模更新	今後も魅力ある博物館であるため、常設展の展示において以下のような計画を立て、実施する。 ・展示機器スイッチ等の非接触型展示への変更 ・第2展示室タイムトンネル等の照明のLED化 ・展示室照明点検 ・「学芸員からこんにちは」、「茨城の自然インフォメーション」、「トピックスコーナー」の定期的な小規模更新 ・常設展示の部分展示更新 ・偏光顕微鏡やフィールドスコープ、タッチディスプレイ等ハンズオン展示について、代替となる非接触デバイス等の今後の導入検討

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>⑩自然博物館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:98,969 R3 当初:79,937</p>	<p>4回の企画展を開催する。</p>	<p>1 さくら展-まだ見ぬ桜に逢いに行く- 期間:令和2年2月22日~6月7日 入館者数:36,646人</p> <p>2 深海ミステリー2020-ダイオウイカがみる世界 - 期間:令和2年7月18日~10月4日 入館者数:107,297人</p> <p>3 いのち育むブナの森-森のぬくもり、もりだくさん! - 期間:令和2年10月31日~ 令和3年2月7日 入館者数:54,068人</p> <p>4 化石研究所へようこそ-古生物学のすすめ- 期間:令和3年2月27日~6月13日 入館者数:97,559人</p>	<p>1 化石研究所へようこそ-古生物学のすすめ- 期間:令和3年2月27日~6月13日 入館者数:97,559人</p> <p>2 毒を持つ生きものたち-生き残りをかけた大作戦! - 期間:令和3年7月10日~9月20日</p> <p>3 こけティッシュ苔ワールド! -地球を包むミクロの森- 期間:令和3年10月16日~ 令和4年2月6日</p> <p>4 INMコレクション展(仮) 期間:令和4年2月26日~6月12日</p>
<p>⑪自然博物館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:1,851 R3 当初:1,930</p>	<p>動物、植物、地学分野の展示用又は研究用資料の購入による収集と、調査研究活動や寄贈資料受け入れによる収集によって博物館資料の充実を図る。</p>	<p>合計5,517点の資料を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入・製作資料:240点 ・採集資料:5,124点 ・寄贈資料:153点 	<p>県内の自然についての資料の収集を行う。</p>

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>⑫自然博物館学術調査研究 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:4,137 R3 当初:4,313</p>	<p>1 総合調査研究 茨城県の生物相やその変遷、地質等の地学的特性を把握するため、自然史資料の集積を図り、茨城県内の資料の目録をつくることを目的とする調査活動。</p> <p>2 重点研究 茨城県の自然史や当館の博物館活動に関する重要な課題や今日的な課題をテーマとし、グループで行う調査研究活動</p> <p>3 創造的調査研究 博物館職員の資質の向上と博物館活動の発展、さらに自然科学の向上発展に寄与することを目的として、職員各自の専門性や業務内容に関連したテーマに基づき行う調査研究活動</p>	<p>1 総合調査 令和2年度は、第Ⅲ期第1次総合調査3年目として、3つの団体に委託し、そこに当館の職員が加わって調査を実施した。茨城県の生物相やその変遷、地質などの地学的特性を把握するための資料収集と目録作りを行った。</p> <p>2 重点研究 以下のテーマで、各種機関と連携して実施した。 ・茨城県におけるアライグマ防除のための基礎研究 ・菅生沼周辺におけるクリハラリスの分布把握と効果的な防除方法の検討 ・茨城県沖の動物相調査 ・宍塚大池付近の休耕田の植生調査 ・特定外来生物オオバナミズキンバイの防除 ・県内ブナ調査 ・筑波山地域の地質と地形、ジオパーク活動について ・白亜系那珂湊層群の古生物相</p> <p>3 創造的調査研究 学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めた。学芸系</p>	<p>1 総合調査 今年度は、第Ⅲ期第2次総合調査の1年目にあたる。調査は、3つの調査会を設けて外部有識者に委託し、そこに当館の職員が加わって進めている。調査地は県内全域を対象とし、未調査の場所や収集が不十分な分野の資料を中心に調査を実施している。また、第Ⅲ期の前半の終了に伴い、3年間の資料収集の成果について整理及び検討を行う。</p> <p>2 重点研究 以下のテーマで、各種機関と連携して実施している。 ・野生動物における付着散布植物の付着実態に関する研究 ・菅生沼周辺におけるクリハラリスの分布把握と効果的な防除方法の検討 ・さるまい自然公園調査 ・特定外来生物オオバナミズキンバイの防除 ・県内ブナ調査 ・筑波山地域の地質と地形、ジオパーク活動について ・那珂湊層群および双葉層群の化石から復元される後期白亜紀における北西太平</p>

		職員の資質向上と情報共有を図るため、館内での学芸研究発表会 12月と2月に実施した。	洋域の生態系 3 創造的調査研究 学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めている。学芸系職員の資質向上と情報共有を図るため、館内での学芸研究発表会を継続して実施する。
⑬歴史館普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:5,282 R3 当初:9,195	各種講座や教室、展覧会での展示解説などの普及事業を実施し、歴史に親んでもらうとともに、利用促進を図る。	1 館内普及活動 常設展展示解説:2,041人 特別展等展示解説:5,363人 講演会:477人 付属施設活用事業:200人 各種講座・教室:1,135人 歴史館に親しむイベント:108人 学校教育との連携事業:4,933人 郷土学習支援事業:1,407人 いちようまつり:16,941人 2 館外普及活動 学校教育との連携事業:1,273人 郷土学習支援事業:1,177人 ※新型コロナの影響により、講演会2回、各種講座6回、歴史館に親しむイベント6回を中止。	1 館内普及活動(人数は R3.5.31 現在) 常設展展示解説:310人 特別展等展示解説:376人 講演会:245人 付属施設活用事業:29人 各種講座・教室:190人 歴史館に親しむイベント:50人 学校教育との連携事業:115人 郷土学習支援事業:264人 いちようまつり 2 館外普及活動(人数は R3.5.31 現在) 学校教育との連携事業 郷土学習支援事業:126人 ※新型コロナの影響により、歴史館に親しむイベント1回を中止。

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>⑭歴史館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R2 決算:51,768 R3 当初:34,782</p>	<p>・「茨城の歴史をさぐる」をテーマに、茨城の原始古代から近現代までの歴史を概観できる常設展示を開催する。</p> <p>・また、特別展 1 回を開催するほか、考古、歴史、美術・工芸の部門から 4 回の企画展を開催する。</p>	<p>1 特別展</p> <p>①「Jomon Period—縄文の美と技、成熟する社会—」 期間:10月10日～11月29日 入館者数:15,287人</p> <p>②「鋼と色金—茨城の刀剣と刀装—」 期間:2月20日～4月11日 入館者数:8,647人</p> <p>2 企画展</p> <p>①「鹿島神宮の宝—直刀・狛犬・鯰絵、そして祭頭祭・御船祭—」 期間:4月11日～6月7日 入館者数:1,990人</p> <p>②「戦争と茨城—茨城郷土部隊史料保存会所蔵史料から—」 期間:7月18日～9月22日 入館者数:6,823人</p> <p>③(アーカイブズ展)「徳川斉昭と弘道館・偕楽園」 期間:12月15日～1月31日 入館者数:2,257人</p>	<p>1 特別展 「華麗なる明治—宮廷文化のエッセンス—」 期間:令和4年2月19日～4月10日</p> <p>2 企画展</p> <p>①「中世佐竹氏の世界—千秋文庫所蔵文書から—」 期間:4月29日～6月13日</p> <p>②(アーカイブズ展)「絵図・地図・アーカイブ図—描かれた茨城の都市と村—」</p> <p>③「ふえいす—掘り出された顔かたち—」 期間:9月18日～11月23日</p> <p>④「親鸞を継ぐ—如信をめぐる遺宝—」 期間:12月4日～1月30日</p>

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
⑮まちづくり推進費 (都市計画課) 決算額等(千円) R2 決算: 935 R3 当初:1,508	1 まちづくりシンポジウム 開催地の実情や社会情勢に応じたテーマに基づき、講演やパネルディスカッション等を行うほか、「チャレンジいばらきまちづくり表彰」の表彰式を行う。 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰	1 まちづくりシンポジウム 令和3年1月26日 コロナ感染防止のためオンライン形式で開催 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりシンポジウム内で表彰を実施	1 まちづくりシンポジウム 開催時期未定 2 チャレンジいばらきまちづくり表彰 まちづくりシンポジウム内で表彰を実施する予定
⑯文化施設の連携体制の強化 (生活文化課・文化課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:-	関東甲信越静ブロック文化・文化財行政主管課長協議会を共同で開催または、他県等で開催した際に出席することにより、文化財行政及び文化行政の連携を深める。	書面開催 (持ち回りにより事務局は栃木県)	持ち回りにより、東京都において当該会議を開催予定。

【再掲】

- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・近代美術館常設展(文化課)
- ・近代美術館企画展(文化課)
- ・つくば美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館常設展(文化課)
- ・陶芸美術館企画展(文化課)

- ・陶芸美術館資料整備(文化課)
- ・自然博物館教育普及事業(文化課)

(4) 地域における文化活動の支援

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①地域創造の助成事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:-	(一財)地域創造より募集のあった助成金について、県内市町村等に情報提供するとともに、とりまとめを行い、申請を行う。	(1) 地域の文化・芸術活動助成事業 採択 1 件:(公財)取手市文化事業団 (2) 地域伝統芸能等保存事業 採択 2 件:石岡市、常陸太田市	(1) 地域の文化・芸術活動助成事業 採択 3 件:茨城県 (公財)取手市文化事業団 (公財)水戸市芸術振興財団 (2) 地域伝統芸能等保存事業 採択 2 件:石岡市、常陸太田市

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・各文化活動への後援(生活文化課)
- ・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)
- ・文化行政推進費(生活文化課)

(5) 財政上の措置

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①文化振興基金積立金 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算: 356 R3 当初:2,963	文化振興を図るため、安定した財源を確保し、文化振興を推進する。	R2 運用益(受取利息) 356 千円 ・運用益を伝統文化総合支援事業に活用 ・基金の取崩しを茨城県文化プログラム推進事業に充当	基金の充当

(6) 顕彰

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①ほう賞事務取扱費 (秘書課) 決算額等(千円) R2 決算:335 R3 当初:787	茨城県知事褒賞事務取扱要領に基づき、表彰状、賞状、感謝状、褒状等の交付を行う。	・表彰状: 709 枚 ・賞 状: 713 枚 ・感謝状:4,051 枚 ・褒 状: 36 枚	・表彰状: 114 枚 ・賞 状: 68 枚 ・感謝状: 23 枚 ・褒 状: 4 枚 ※令和3年5月31日現在
②県功績者表彰費 (秘書課) 決算額等(千円) R2 決算:3,329 R3 当初:4,728	・茨城県表彰規則に基づき、県の名声を高めるとともに、広く県民から敬愛され、社会に明るい希望を与えた方及び社会の進歩発展に著しい功労・功績のあった方等を表彰する。	・期日:令和2年11月13日 ・表彰対象者 46 人、11 団体 特別功労賞表彰 1 人 功績者表彰 35 人・8 団体 新しいいばらきづくり表彰 4 人・3 団体 知事奨励賞表彰 6 人	・期日:令和3年11月13日頃(調整中) ・10月上旬の受賞者決定を目指して、候補者選考を進める。

4 事業KPI

・県政情報の到達度(単位: %) ★10

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	53.0	54.6	55.0	56.5	58.0
実績値	37.6	33.6	40.4	38.1	—
達成率(%)	70.9	61.5	73.5	67.4	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(1)① 県政情報紙発行費(「ひばり」)
- ・V(1)② ラジオ広報(県だより等)
- ・V(1)③ 政策広報(新聞広報等)
- ・V(1)④ 県政キャンペーン広報
- ・V(1)⑤ インターネット情報発信事業
- ・V(1)⑥ いばらきインターネットテレビ事業(いばキラTV)

・メディアへの掲載件数(単位: 件) ★11

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	1,300	1,600	1,700	1,800
実績値	1,173	1,304	1,576	1,075	—
達成率(%)	—	100.3	98.5	63.2	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(1)⑦ メディア訪問強化事業
- ・V(1)⑧ メディア活力魅力発信強化事業
- ・V(1)⑨ パブリシティ活動強化事業

・県民文化センター利用率(単位: %) ★12

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	72.5	77.0	80.0	80.0
実績値	79.6	73.6	67.4	43.6	—
達成率(%)	—	101.5	87.5	54.5	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(3)① 県民文化センター施設整備
- ・V(3)② 県民文化センター管理委託
- ・V(3)③ 県民文化センターコンベンション機能強化事業費

・アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数(単位: 万人) ★13

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	113	113	120	125
実績値	113	112	106	65	—
達成率(%)	—	99.1	93.8	54.2	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・V(3)④ アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備
- ・V(3)⑤ アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業

5 事業の評価

【期待した成果を下回っている】（達成率の平均は59.8%であることから、「期待した成果を下回っている」と評価）

新型コロナウイルス感染症の影響により、「県民文化センター利用率」はR1年度の67.4%からR2年度43.6%となり、達成率は54.5%と前年度より減少した。「アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数」もR1年度の106万人からR2年度65万人となり、達成率は54.2%と前年度よりも減少した。

6 今後の展開・方向性

ホームページやSNSなどの情報発信媒体を活用して、文化芸術に対する県民の意識醸成を図っていく。

県立文化施設については、施設の利便性向上や老朽化対策を行い、適切な維持管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、引き続き利用者に安全・安心で快適な空間を提供していく。また、県民文化センターについては、県民ニーズを踏まえた公演等の提供や、新たに整備した動画配信設備を活用した国際会議や催事等の利用促進に努めていく。大洗水族館については、2020年12月のリニューアル効果と20周年記念事業などにより、新たなファン層を取り組むなど、入場者の増加に努める。

VI いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の向上

1 施策の方向

大会イベント等を通じて、茨城の魅力を発信し、文化の振興と地域の活性化を図る。さらに、大会終了後の文化活動と地域の継続的な活性化につなげる。

2 課題

文化プログラムの認証制度を活用しながら、茨城ならではの数多くの文化プログラムを実施することにより、文化活動を活性化させ、その魅力を県内はもとより、全国や世界に向けて発信するとともに、大会終了後も長期的にその成果を持続させていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会における文化プログラムの実施

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
①第74回国民体育大会推進事業 (産業政策課) 決算額等(千円) R2 決算:- R3 当初:-	茨城国体・障害者スポーツ大会の文化プログラムとして、県内で行われるイベント等を取りまとめ発信するとともに、本県の文化・歴史等を活用した事業を行うことで、本県の有する資源、魅力を再発見し、国内外に発信する機会とする。	(R1 年度で事業終了)	(R1 年度で事業終了)

(2) 東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムの実施

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>①東京オリンピック・パラリンピック推進事業費★14 (オリンピック・パラリンピック課) 決算額等(千円) R2 決算:203 R3 予算:1,500</p>	<p>茨城県がホストタウンとなっているベルギー、ベトナムとの交流を進めるため、大使館職員等を招き、講演会等を実施する。</p>	<p>ベルギー交流事業を実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自主企画事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ベルギー選手への応援メッセージ制作 2 地域イベントPR ブース出展 <ul style="list-style-type: none"> ・第44回勝田 TAMARIBA 横丁 3 日本郵便 ホストタウンとの連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウンフレーム切手販売及び贈呈式の実施 4 世界のおもてなし料理プロジェクト (主催:内閣官房)への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・常磐大学、県立海洋高校による、ベルギー選手向けのおもてなし料理の開発 ・ホストタウンサミット(主催:内閣官房)での発表 <p>※新型コロナの影響により、ベトナムホストタウン交流事業は中止。</p>	<p>県内におけるベルギー、ベトナムに対する理解を深めるため、ベルギーやベトナムの文化等を紹介する取組を行う。</p> <p>イベント等において、ホストタウン交流事業をPRする。</p> <p>※新型コロナの状況を確認しながら、実施を検討。</p>

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
②茨城県文化プログラム推進事業★15 (生活文化課) 決算額等(千円) R2 決算:16,836 R3 当初:17,980	2019年の茨城国体、2021年のオリンピック・パラリンピックという二つの大きなスポーツの祭典を契機に、多くの県民等の参加による文化プログラムを実施し、本県の文化の魅力を国内外に発信する。	平成29年度及び平成30年度に表彰した優秀提案をもとに、県が事業化に取り組む。 ○リボン・アートボール2020展 アスリートが使用した廃ボール等をアートで再生させる、スポーツとアートとリサイクルを融合させた取り組み。 ①ワークショップの開催 計10回 792名参加 ②フェスティバルの開催 鹿嶋市まちづくり市民センター 7/23～8/2 1,260人来場 ③展示会の開催 常陸大宮市文化センター 3/2～3/16 1,403人来場 ④PR動画作成 長編・短編2本	平成29年度及び平成30年度に表彰した優秀提案をもとに、県が事業化に取り組む。 ○リボン・アートボール2020展 アスリートが使用した廃ボール等をアートで再生させる、スポーツとアートとリサイクルを融合させた取り組み。 ①ワークショップの開催 計15回予定 ②フェスティバルの開催 ・県庁舎 ・鹿嶋市ト伝の郷運動公園 ③リボン・アートボール展の開催 ・イオンモールつくば ・イオンモール下妻 ・日立シビックセンター ③PRサイト・PR冊子の作成
③文化プログラム認証事業 (生活文化課)★15 決算額等(千円) R2 決算:2,532 R3 当初:3,121	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、開催地となる本県でも県内各地で実施される文化イベントを文化プログラムとして認証し、本県文化の魅力を国内外に積極的に発信していく。	通知や各種会議の場において、市町村や文化団体等に認証の申請を働きかけている。 ・beyond2020プログラム本県が認証した件数 747件	通知や各種会議の場において、市町村や文化団体等に認証の申請を働きかけている。 ・beyond2020プログラム本県が認証した件数 768件(令和3年5月末現在)

事業名	事業内容	R2 年度実績	R3 年度取組状況
<p>④オリンピック・パラリンピック教育推進事業 (保健体育課)</p> <p>決算額等(千円) R2 決算:4,010 R3 当初:5,954</p>	<p>・オリンピック・パラリンピック教育推進事業は、スポーツ庁との委託契約に基づく事業である。</p> <p>・オリンピック・パラリンピック教育推進校を指定し、全国中核拠点の筑波大学と連携しながら、最新の知見をもとに教育実践を行い、オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を図るとともに、スポーツの価値への理解を深め、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等、多面的な教育の充実を図る。</p> <p>・実践研究の成果を教育現場に発信し、スポーツに対する理解と関心を高め、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図る。</p>	<p>1 教育推進校 33 校 (内訳) ・小学校:25 校 ・中学校:5 校 ・県立高等学校:2 校 ・県立特別支援学校:1 校</p> <p>2 教育推進校セミナー (文書による開催) 対象:教育推進校及び教育推進校の市町村教育委員会</p> <p>3 教育推進事業の実践 各推進校にて7月～2月に実施</p> <p>4 教育推進校ワークショップ 期日:2/19 オンラインにて開催 対象:教育推進校</p> <p>5 教育推進校事業実施報告書の作成・配布 配布先:県内小・中・義務教育学校、 県立学校等</p>	<p>1 教育推進校 29 校 (内訳) ・小学校:23 校 ・中学校:4 校 ・義務教育学校:1 校 ・県立特別支援学校:1 校</p> <p>2 教育推進校セミナー (文書による開催) 対象:教育推進校及び教育推進校の市町村、教育委員会</p> <p>3 教育推進事業の実践 各推進校にて7月～1月に実施</p> <p>4 教育推進校ワークショップ 期日:1月開催予定 対象:教育推進校</p> <p>5 教育推進校事業実施報告書の作成・配布 配布先:県内小・中・義務教育学校、 県立学校等</p>

4 事業KPI

事前キャンプ誘致に取り組む市町村数 ★14

	2017(基準)	2018	2019(目標)
目標値	—	21	26
実績値	28	29	27
達成率(%)	—	138.1	103.8

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ VI (2) ① 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費

文化プログラム認証件数(単位:件) ★15

	2017(基準)	2018	2019	2020	2021(目標)
目標値	—	230	460	700	900
実績値	4	334	665	747	—
達成率(%)	—	145.2	144.6	106.7	—

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ VI (2) ② 茨城県文化プログラム推進事業
- ・ VI (2) ③ 茨城県文化プログラム認証事業

5 事業の評価

【期待以上の成果】

「文化プログラム認証件数」については、新型コロナウイルス感染症の影響による催事の中止等により認証件数が伸び悩んでいるものの、達成率は100%を超えている。

6 今後の展開・方向性

茨城国体及び東京オリンピック・パラリンピックを契機に、多くの県民の参加による文化プログラムを実施することにより、文化振興を図ってきたところ。大会終了後も長期的にその成果を持続させるため、様々な文化プログラムが実施されるよう努めていく。